

NO:26.1 形式: F-5D グレース (GRACE) 品川無線 (株)



データなし：当方の推測値記載

① MM、②、③ 5、④ 0.7mil、⑤ 10、⑥ 2.5、⑦、⑧、⑨、⑩ 47、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、

品川無線の創始者朝倉昭氏は1928年生まれ、会社「品川無線」を1949年に設立した。当時人気の高かったアメリカのグレイの製品を手本に開発を進めたことから「グレース」という名前をつけた。(2016年、Vol53、Autum Analog 誌から)

1960年：日本で初めてMC型のF-45Dを開発した。

試聴したところ素晴らしい明瞭な音で耳障りも良かった。特に中音域が良い。

NO:26.2 形式: F-6H グレース (GRACE) 品川無線 (株)



- ① MM、② 20-20kHz ③ 6、④ 0.5mil ⑤ 11 ⑥ 1-4 ⑦、⑧ 30-100k ⑨、⑩、⑪ 25 ⑫ 0.5 ⑬ 6.2 ⑭ 2000 ⑮、⑯、⑰、⑱ 7,600 ⑲、⑳ カタログ他

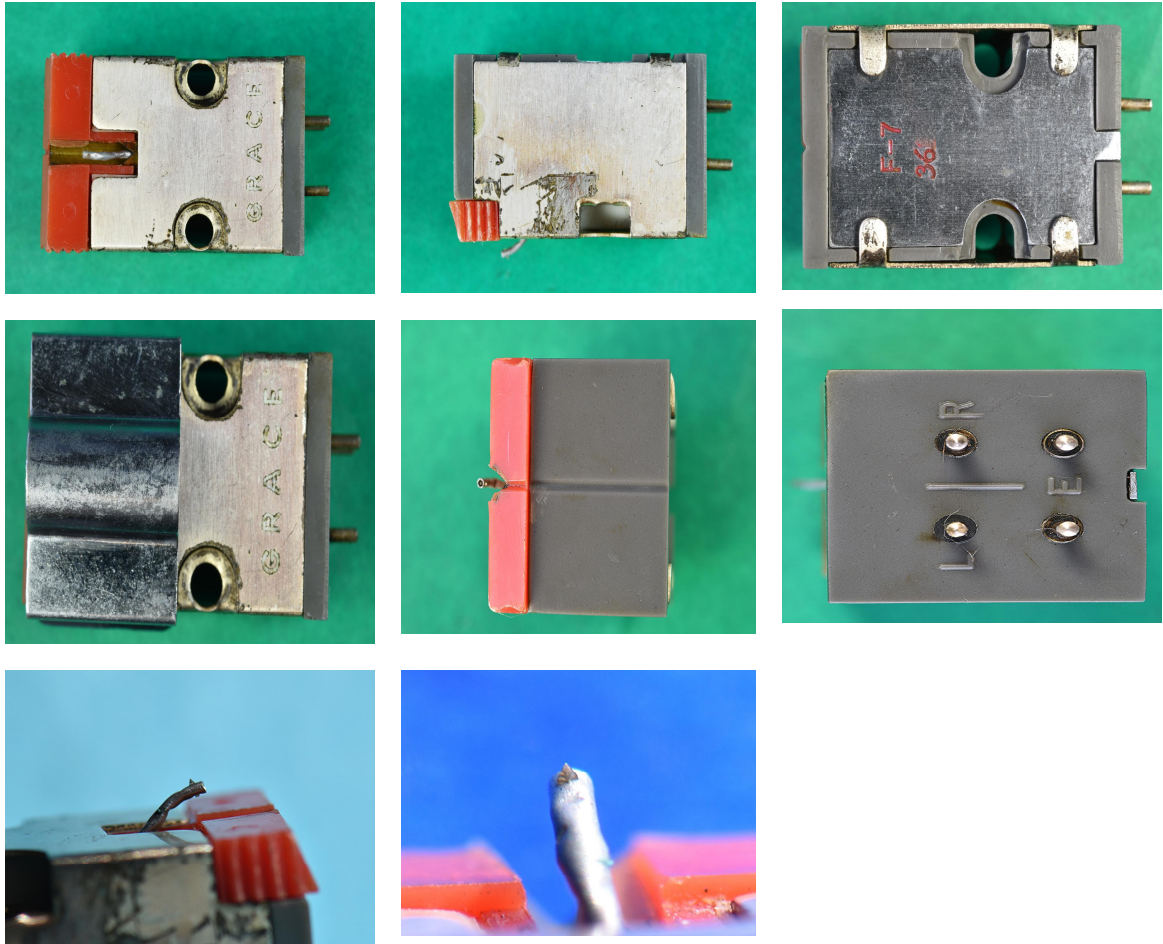
F5 に比べ F6 はコンプライアンスが高く、適正針圧低く、出力電圧が高い。(海老沢徹著：カートリッジ大全から)

ムービング・マグネット型として、初めて放送やレコードの原盤試聴に用いられた高性能製品で、結晶軸の方向性を正確にえらんで研磨した高価なソリッドチップのダイヤモンド針の採用によって、特性はそのままにコストダウンに成功したカートリッジです。

F-6 シリーズは F-7、F-8 の開発に伴う最新の研究成果によって、もっとも進んだ技術と材質を投入し、諸特性や音質の向上に努めている。(カタログから)

2.0g で試聴したところ、明るい明瞭な美しい音です。低音は音量は豊かだが少し鈍い音です。

NO:26.3 形式: F-7H グレース (GRACE) 品川無線 (株)



① MM、②、③ 2、④ 楕円、⑤、⑥ 1.5、⑦、⑧、⑨ 15、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯ 1960 中頃、⑰、⑱ 12,500、⑲、⑳、

(ステレオの産業史／グレース から)

シュアーの V15 よりも一歩早く、バーチカルトラッキングエラーの問題に取り組んだ MM 型カートリッジが F-7 です。このカートリッジの設計者は長島達夫氏であった。

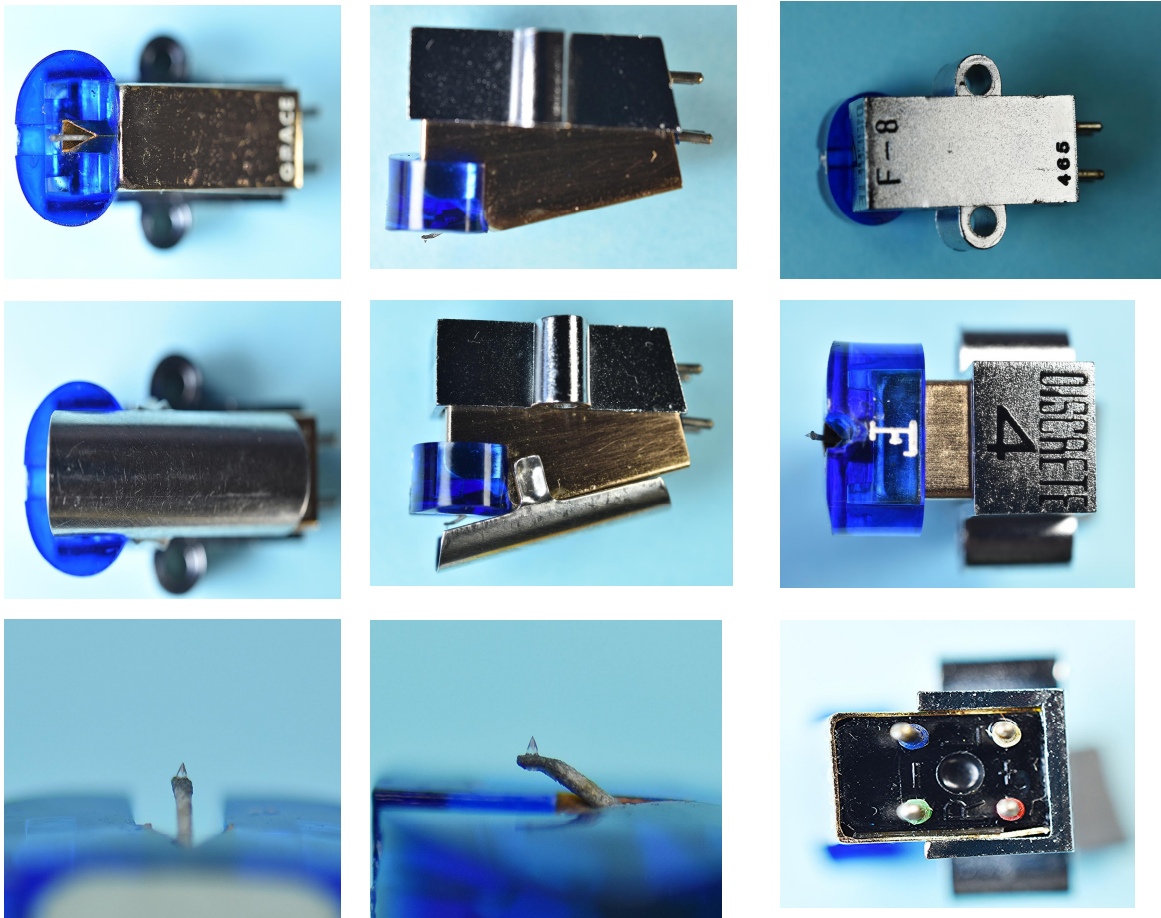
レコードの原盤となるラッカー盤に音を刻むときの角度 (バーティカル) は 15 度で、カートリッジの針先の角度もそれに合わせれば、トラッキングエラーを減少させ歪みを減らせる、ということに気付いて最初に実用化したのが、この F-7 であった。

「F-7」は理論を裏付けにした最初の軽針圧カートリッジといえる。この成果が「F-8L」の成功に繋がった。

1.5g で試聴たところ、一般的な多くのカートリッジと異なり、中高音が抑えめ、中低音に厚みと響きあり。(これが周波数範囲全般にわたりバランスが良いというのかも知れない。)

音は明瞭で歪み感なし。出力電圧は低く 1mV 位に感じる。

NO:26.4 形式: F-8F グレース(GRACE) 品川無線(株)



① MM ② 10-50,000 ③ 3.5 ④ SHIBATA ⑤ 6.5 ⑥ 1.0-2.5 ⑦、⑧ 50-100k ⑨、⑩、⑪ 30 ⑫ 0.5
⑬ 25 ⑭ 1.7k ⑮、⑯、⑰ヤフーオーク⑱ 22,000 ⑲、⑳カタログ

(カタログから記載)

ディスクリット・4チャンネル用に開発したワイド・レンジ形カートリッジです。

主な特徴：

1 広帯域な周波数特性：45kHz まで充分カバーできる。

特に可聴帯域では全くフラットな特性です。

2 超小型特殊振動子の採用：

超軽量特殊材によるカンチレバーに、BHma(エネルギー積)の大きな磁性材料をその最も効率の良い形状に設計してある。従来の振動子に較べて 1/2 という超軽質量となっています。

3 新形状針先の採用：SHIBATA 針を採用している。

4 F-8 シリーズとの互換性

1.2g で試聴したところ、伸び伸びした清涼感のある美しい音です。低音は少し鈍い。出力電圧は 2mV 位に感じる。

F-8L と比較すると明瞭感、出力電圧など、ワンランク下の製品と感じる。



- ① MM、② 10 ~ 35,000、③ 5、④ 0.2 x 0.8mil、⑤ 6.5、⑥ 0.5 ~ 2.5 (1.5 標準)、⑦、⑧ 30-100、⑨ 23、⑩、
⑪ 30、⑫ 0.5、⑬ 20、⑭ 40.0、⑮、⑯ 1966/4、⑰、⑱ 15,500、⑲、⑳ SG'84 他、

製造者説明：1966（昭和 41 年）カートの設計に当たり基本的な必要要件を 13 項目あげ、NHK 総合技術研究所と音響研究所との共同開発で開発された。

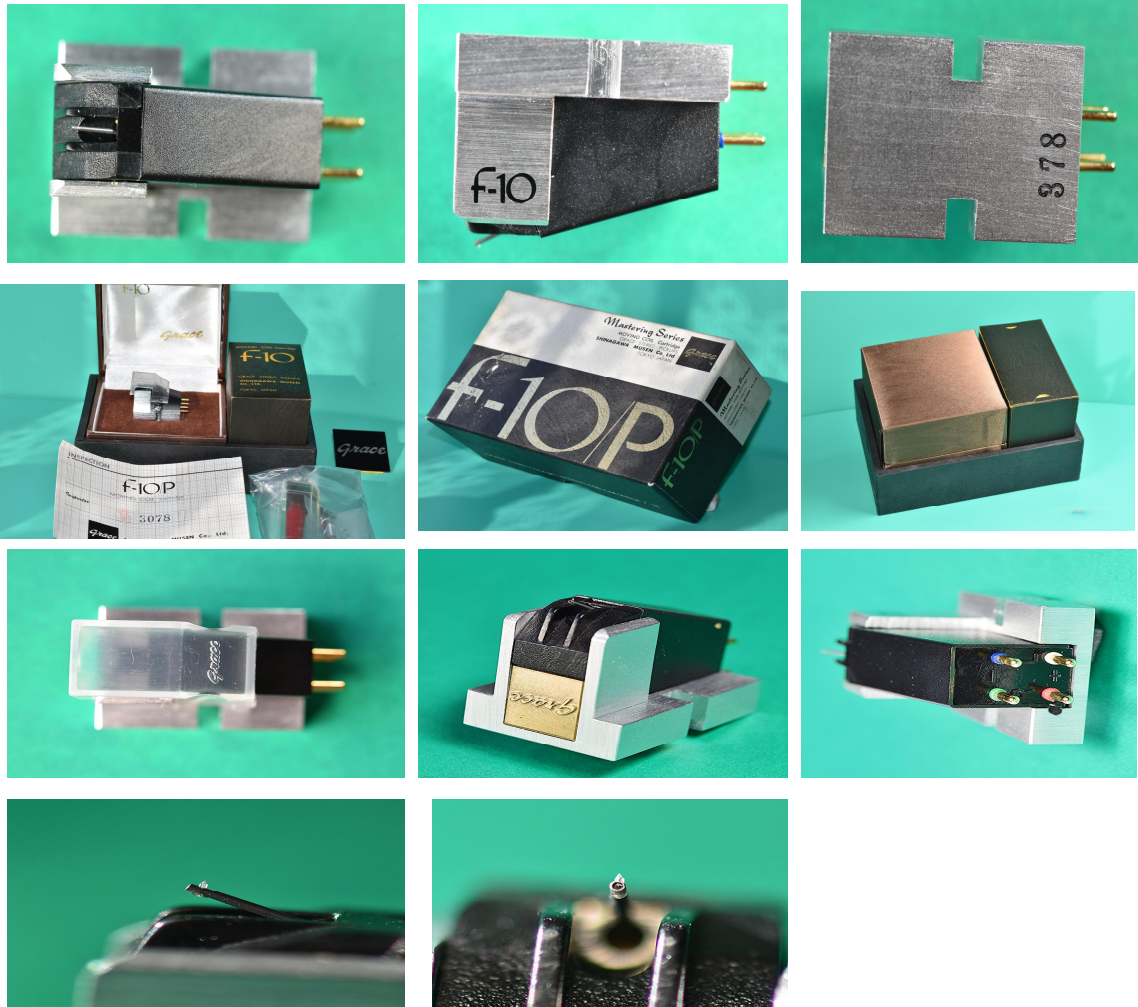
アナログ・ディスク再生の原点として、また、MM 型の標準モデルとしてマニアの方々はもとより、全世界の多くの人々に愛用された。交換針の 8L'10 は F-8 の総合技術と F-9 シリーズで得た最新情報を導入し、F-8L 発売から 10 年目に発売した製品です。

F-8 シリーズ製品は、これまでのカートリッジにはなかった「交換針で音を変える」という概念を生み出した製品として多くの人を驚かせた。（2016 年アナログ誌、Vol.53 から）

カンチレバー材質は軽量アルミ合金。交換針は 8L'10。

コメント：試聴したところ明瞭感のある美しい歪み感のない最高品質の音です。低音において少しツマリを感じます。

NO:26.6 形式: f-10P グレース (GRACE) 品川無線 (株)



- ① MC、② 10 ~ 25,000、③ 0.75、④ 0.2 x 0.8mil、⑤ 9.3、⑥ 2.0 ~ 3.0(2.5 標準)、⑦、⑧ 50、⑨、⑩ 100、
⑪ 25、⑫ 0.5、⑬ 13、⑭ 23、⑮、⑯ 1977、⑰、⑱ 46,000、⑲、⑳ 取扱説明書他、

製造者説明：取扱説明書に特徴の記載がない。シリーズに f - 10L がある。カンチレバー材質はテ-パート OX チタン 0.02mmt。f-10L はボロン系複合材 0.26mm φ

コメント：外箱の中に丁寧に同封されており、会社のカートリッジに対する思い入れを改めて感じさせられた。1960 年に日本で初めて MC 型カートリッジ F-45 を製造販売して以来、約 20 年振りに MC 型カートリッジを販売した。1989 年には Grace はオーディオから撤退した。

試聴したところ低音の締まりの良い、歪み感の少ない素晴らしい音でした。